

山の水を守る

山添村立山添中学校三年

東久保 康生

「これからちよつとこれに入った水を使つてや。」

と大きなたらいを指さしているおばあちゃんに言われました。今までこんなことはなかったのでも驚きました。なぜかを聞いてみると、水道の工事で一時的に水道が止まっているようでたらいに入っている水は山の方から引つ張ってきたものと言っていました。それから数日間断水での生活が始まりました。最初のうちは料理の水はどうするのか、トイレが流れないかもとか不安がありました。しかし、それらは山の水を使うことで解決しました。トイレは流すことができましたし、山の水は思ったよりきれいで料理に使うこともできました。山の水は完全にきれいではなくて菌や微生物が含まれているみたいですが、数日ぐらいでは問題ありませんでした。という感じで山の水を使うこ

とができたことで、あまり日常と変わらない数日間でした。しかし、この経験がきっかけで僕はある場所を思い浮かべました。

その場所は家の近くにある水路です。断水のとくに使った山の水がそこにも流れていると考えたからです。僕にとつてはかなり思い出深い場所で、兄弟や家族とよくそこに行つて水路にいる生き物をとつて観察していました。あまり大きな水路ではないので、いてもカニやカエルなどでしたが、それでも見に行くのがとても楽しみでした。今はどうかなと気になったので数年ぶりに見に行つていました。水路には前と変わらず、今もきれいで透き通っている水が流れていました。生き物はいないのかなと数日続けて見に行きました。すると、カニを見つけたことができました。なつかしきもあつてなんだかうれしく感じました。そこで僕は、山の水は僕ら人間だけでなく生き物にとつてもありがたいものなんだなと思いました。でもそんな山の水がこれからもずっと使えるとは限らない

のではとも思いました。

そもそも山の水はなくならないのでしょうか。この経験から山の水についてと、これからも使い続けられるのかという視点で調べました。山の水とは、山に染み込んだ雨や雪が地表にわき出る水のことです。その過程で水がろかされてきれいになります。また、地中に染み込んでいるときに成分を吸収することで栄養を含みます。調べているときに気になった言葉があつたので、それに調べました。一つめは森林の役割です。森林は、山の水にとって良い影響を与えてくれているそうです。例えば、森林が水を蓄えることで、洪水が起こりにくくなったり、水のろかにも役立っています。これらの役割がある森林ですが、森林伐採が問題視されているところもあるそうです。山の水の水質維持にも森林は大切だということがわかりました。二つめは水質汚染です。水質汚染といっても原因は様々ですが、一番身近に感じたのは生活排水によるもので、使用済みの油や洗剤などが原

因のようです。水質が汚染されると、もちろんその水は飲めませんし生き物も住めなくなり、ます。もし自分の家の近くの水路が汚染されて生き物がいなくなったり、山の水が使えなくなると考えると、そうならないようにしたいという気持ちがいっそう強まりました。

山の水は僕たち人間や生き物の命を支えてくれています。僕ができることは少ないですが、せめて水が無駄に汚されないように意識したいと思います。きれいで透き通った山の水の大切さを理解し守っていききたいです。